

科目名称	小児看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	15
担当教員	井ノ上眞由美	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

小児期の正常な成長・発達の特徴、対象である子どもについて理解するとともに、子どもを取り巻く環境の影響や法律を知り、小児看護の役割と機能について理解を深める。

【2】学習目標

1. 小児看護の変遷を学び、看護の対象・目的・役割を理解できる。
2. 小児期の特徴と各期の成長・発達について説明できる。
3. 子どもと家族を取り巻く環境や制度・法律を理解し、小児看護の機能と役割がわかる。
4. 母子保健、小児保健のあり方について説明できる。
5. 小児期の順調な経過促進と健全な成長・発達を支える援助の方法を理解できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☐ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- ☒ 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- ☒ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- ☐ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- ☐ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- ☐ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- ☒ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	小児看護の概念 発達段階と発達課題	講義
2	小児の成長と発達①	講義
3	小児の成長と発達②	講義
4	小児の栄養と食事	講義
5	小児看護における倫理 病気や入院が小児に与える影響	講義
6	小児と家族を取り巻く社会	講義
7	小児看護の特徴と理念	講義
8	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験で総合的に評価します。

【6】教科書

奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論(第15版) 医学書院 2025(電子版)

【7】参考書

浅野みどり:「根拠と事故防止からみた小児看護技術 第2版」, 医学書院 2016年.

【8】受講生へのメッセージ

子どもの各期の成長・発達について、身体的・心理的・社会的な側面の特徴を学習していきます。また、インフォームド・コンセント、プレパレーションについて事例を基に学習していきましょう。